

## 活用方針



### VLP取組概要



#### ■ VLP活用のねらい

不登校の児童・生徒に対し、オンライン上の仮想空間を活用し、居場所や学びの場を提供することにより、学びの保障、他者とのコミュニケーションを図る機会の充実、児童・生徒一人ひとりのニーズに合わせた支援を行い、学校復帰および将来の社会的自立を目指す。

#### ■ 対象生徒・児童

市内公立小・中学校の不登校児童・生徒のうち、別室登校および、教育支援室（あゆみ教室）等へ通室できない等、学びや必要な支援に繋がっていない児童・生徒（小学校各校2名以内、中学校各校4名以内、超える場合は要相談）

#### ■ 運営時間

毎週月曜日と火曜日の、午後1時から午後3時まで

※土日祝日、年末年始はお休み

#### 活用方法

- 自習用ドリル教材（デキタス 小1～中3、各教科）、プログラミング、タイピング教材（提携業者）、桃太郎鉄道教育版を使った  
学学習
- 支援員（都配置）、指導員（市職員）、相談員（臨床心理士）との交流（チャット）や面談
- 参加児童・生徒同士の交流

## 活動・取組み内容



### 活動・取り組み内容

#### 【前期】

4月頃、市内教職員へ、VLP事業について周知する。  
5月頃、対象となる不登校児童・生徒に、各校より連絡する。

希望者にアカウント、パスワード、操作の仕方等のリーフレットを順次配布する。

市内各校に教職員用のアカウント、パスワード、体験の流れ等のお知らせを配布し、バーチャル空間内の、操作確認用ルームで体験を実施する。

#### 【後期】

○デキタス教材やプログラミング教材、桃太郎鉄道教育版の学習で、教育支援ができるようにできるように取り組む。

次第に参加人数が少なくなったが、2月下旬から3月にかけて少し人数が増えてきた。主に、緑の階段を中心に支援員さんと一緒に活動した。

○青空教室の行事の宣伝のポスターをルーム内に貼って参加をうながした。参加がなかったので、市の職員が参加した。

## 成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

### 成果/好影響

- 教育支援室（あゆみ教室）や別室登校等にも通室できていない児童・生徒が、「バーチャルスペースこだいら」に短期間でも、安心して過ごせる居場所を提供することができた。
- 支援員とテキストチャットにより、興味のあること等を話し合うことで、コミュニケーションをとることができた。
- バーチャル空間で階段ジャンプ遊びに挑戦して、楽しく過ごすことができた。
- テキストチャットをすることにより、文字入力の学習もすることができた。
- デキタス教材やプログラミング教材の学習により、ある程度、学習を保障することができた。
- 学びや必要な支援につなげていない児童・生徒への支援策の一つとして実施することができた。

### 次年度以降の方針

- 今年度と同様、平日の月曜日と火曜日の午後1時から3時までを計画している。
- 本市では、別室登校および教育支援室（あゆみ教室）等へ通室できないなど、学びや必要な支援につなげていない児童・生徒を対象としている。4月の時点で、市内各校に情報を提供し、各校から必要な児童・生徒に周知していく。さらに、対象児童・生徒の拡大方法について検討を重ねる。
- 最初は利用していた児童・生徒も次第に利用しなくなる傾向がある。支援員との対話を続けるとともに、デキタス教材、プログラミング教材、タイピング教材の良さや、「桃太郎電鉄教育版」の楽しさを伝え、継続した利用ができるように取り組む。

### 利用者の声



- 階段ゲームがむずかしくて、うまくできなかったが、コツを教えてもらい、次第に上手にできるようになってうれしかった。
- うまく入れない時に、支援員さんから、一度退室して、再度入室すると入りやすくなりますよ、と教えてもらったので、よかった。
- デキタス教材で、復習することができた。
- デキタス教材へ入る時に、もらっていたパスワード等を失くしてしまい困った。



- 支援員さんが、いつもいてくれてアドバイスを子どもたちにしてくれるので助かりました。
- 時々、パソコンの関係がフリーズしてしまう子がいたので、何回か入りなおしてもらった。
- こども同士で、ボイスチャットをした場合に、トラブルが起きないか心配。
- 対象とする児童・生徒の範囲を検討してもよいのでは。

事務連絡  
令和7年4月30日

小平市立小・中学校長 殿

小平市教育委員会教育部  
教育施策推進担当課長兼統括指導主事  
山下 大輔

令和7年度 バーチャル・ラーニング・プラットフォーム事業「バーチャルスペースこだいら」について

このことについて、小平市は令和6年度より、東京都教育庁からの参加自治体決定通知を受け、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム事業を実施してきたところです。  
今年度は、6月2日月曜日より運用を開始いたします。本事業の運用方法の概略について、下記のとおりお伝えします。  
つきましては、貴職下教職員および参加を希望する児童・生徒とその保護者に対し、後日配布のリーフレットで周知いただくようよろしくお願いいたします。

記

- 1 目的  
不登校の児童・生徒に対し、オンライン上の仮想空間を活用し、居場所や学びの場を提供することにより、学びの保障、他者とのコミュニケーションを図る機会の充実等、児童・生徒一人一人のニーズに合わせた支援を行い、将来の社会的自立を目指す。
- 2 対象  
市内各公立小・中学校の不登校児童・生徒のうち、各校での別室登校およびあゆみ教室等へ通室ができずに自宅にいる児童・生徒（小学校各校2名以内、中学校各校4名以内、超える場合は要相談）  
※小平市指定のバーチャル空間に一度に入ることができる児童・生徒数が50名  
※参考：令和6年度のあゆみ教室登録児童・生徒数は67名
- 3 方法  
自宅でもり貸与されているクロームブック等を使い、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（以下VLP）の仮想空間にアバターとして入り、それぞれが自分のペースに合わせて無理なく学習し、また、コミュニケーションを図る。  
  
※「バーチャルスペースこだいら」の開設時間＜6月2日（月）より開設＞  
平日の月曜日、火曜日  
時間 午後1時～午後3時  
※バーチャルスペースこだいらの空間には、開設時間帯は必ず指導員と支援員のアバターが先に入室して、チャットで質問等を受ける。
- 4 活動内容  
○自習用ドリル教材（名称はデキタス 小1～中3、各教科）、プログラミング教材、タイピング教材（提携業者）、橋太郎電鉄教育部（地理や投資ゲーム等）※R6後半から実施を使った学習  
○指導員、支援員、相談員（臨床心理士等）とのコミュニケーションを通した人間関係づくりや面談  
○参加児童・生徒同士のコミュニケーションを通した人間関係づくり。（安全管理等の理由でチャットでの会話は記録されず。）  
○作品等の掲示物の展示等
- 5 申込み方法  
申込みは、各学校（管理職が配布対象を把握することは必須）より後日配布の申込書とリーフレットを該当児童・生徒に配付し、あゆみ教室宛に申込書を送付してください。アカウント等を校長先生宛にお送りしますので、該当児童・生徒にお渡しください。  
※後日、体験用のアカウント、パスワード等を各校1つずつ配布しますので、受け取り次第教職員でVLPの体験をしてください。よろしくお願いいたします。
- 6 出席の取り扱いについて  
VLP 事業による、オンライン上の仮想空間を活用した支援については、居場所や学びの「場の提供」という観点から、現在は出席として認めておりません。

指導課指導主事 岡野  
指導課（あゆみ教室） 小菊  
TEL 042-343-9271

バーチャル・ラーニング・プラットフォーム事業

「バーチャルスペースこだいら」実施の流れについて



※ 配布したアカウントは、配布した年度に限り有効です。

※「バーチャルスペースこだいら」の開設時間には、アバターの指導員、支援員が常駐して対応します。「バーチャルスペースこだいら」入室した児童・生徒の活動内容等は、各校にお知らせします。

印刷

教職員向け

令和7年度「バーチャルスペースこだいら」  
学校向け体験用アカウント、パスワードの配付及び体験の流れについて

1. 小平市立( )学校のアカウント、パスワード等

VLP アカウントとパスワード	自習用ドリル教材(デキタス) アカウントとパスワード	プログラミング・タイピング ログインIDとパスワード

※教職員向け体験期間は、5月末日までの平日の月曜日～金曜日の午前9時～午後6時までの時間内での体験をお願いいたします。

※操作確認用ルームで、教職員向け体験ができます。6月からは、小平市メタパース教室(バーチャルスペースこだいら)で体験ができます。

※小平市メタパース教室(バーチャルスペースこだいら)は、6月2日(月)以降、平日の月曜日と火曜日13時から15時まで児童・生徒が入室しますので、この時間帯には入室しないでください。

2. 「操作確認用ルーム」への入室の仕方

- クロームブックもしくはPCのカメラを使って、スキャン→QRコード→右のQRコードを読み取り表示されたURLをクリックしてアクセスしてください。  
※カメラ機能がない場合は、下のURLにアクセスしてください。

<https://ticket.xrcloud.jp/login/>



- 上記 VLP アカウントとパスワードで、ログインをしてください。



様式1

「バーチャルスペースこだいら」利用申請書

小平市教育委員会 殿

東京都と連携した小平市のバーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)事業を理解しましたので、下記のとおり「バーチャルスペースこだいら」の利用を申請いたします。

学校名	小平市立	学校
学年・組	学年	組
児童・生徒氏名		
保護者氏名		
メールアドレス	@	

※本申請書は、学校へ提出してください。後日、学校から「バーチャルスペースこだいら」のアカウント等をお渡しします。

※東京都やVLPの行事等のお知らせを送付しますので、メールアドレスも御記入ください。

様式2

第 号  
年 月 日

様

小平市教育委員会

「バーチャルスペースこだいら」ログイン用アカウント及びパスワード等の配付について

下記のとおり、「バーチャルスペースこだいら」ログイン用アカウント、パスワード等をお知らせします。

※児童・生徒、保護者向けリーフレット「バーチャルスペースこだいら」に記載されている利用上のルールを守り、参加してください。

◎「バーチャルスペースこだいら」への入室の仕方

1. 右のQRコードを読み取り、表示されたURLをクリックしてアクセスしてください。  
※カメラ機能が不調の場合は下記のURLを入力してアクセスしてください。



<https://ticket.xrcloud.jp/login/>

2. 配付されたアカウントとパスワードで、ログインを行ってください。以降は、児童・生徒、保護者向けリーフレット「バーチャルスペースこだいら」をご覧ください、参加してください。



◎小平市立（ ）学校（ ）さんのアカウント、パスワード等

VLP アカウントとパスワード	自習用ドリル教材（デキタス） アカウントとパスワード	プログラミング・タイピング ログインIDとパスワード
アカウント	アカウント	ログインID
パスワード	パスワード	パスワード

※「桃太郎電鉄教育版」入室する際は、アドバイザーの支援員に「授業コード」を聞いてください。

「バーチャルスペースこだいら」  
利用児童・生徒及び保護者 様

「バーチャルスペースこだいら」からのお知らせ

日頃より、「バーチャルスペースこだいら」を御利用いただきありがとうございます。下記のとおり、1月の利用日および3学期の変更点をお知らせいたします。御不明な点がございましたら、担当まで御連絡ください。

<1月の利用日>

- 1月は、13日（火）から、3学期の利用開始となります。
- ※開設時間は、午後1時から3時までです。
- ※冬休み中の開設はありません。

<3学期の変更点>

東京都により、新しく各自治体のこどもたちと交流できる「あおぞらルーム」が毎週月曜日に開設されます。このことに伴い、「バーチャルスペースこだいら」は、毎週火曜日のみ開設となります。

開設日時 令和8年1月19日（月）より、毎週月曜日

開設時間 午前9時から午後5時まで

場 所 「あおぞらルーム」

※バーチャル空間に、イベントルームがあります。

「バーチャルスペースこだいら」の待機場所に掲示してある「あおぞらルーム」をクリックすると、中に入ることができます。

「あおぞらルーム」には、都のオンライン支援員がおり、他の自治体のこどもたちと交流することができます。ぜひ、御利用ください。

【担当】

小平市教育委員会指導課  
電話 042-343-9271（あゆみ教室）

## 「バーチャルスペースこだいら」でできること

・アバターを選んで、名前をつけて行動できます。  
※(アバターは、仮想空間上で自分をキャラクター等に例えたもの)

・アバターは、アクション(ジャンプ、あいさつ等)のいろいろな行動ができます。

・自習用ドリル(小1～中3、各教科)を自分のペースで学べます。

・プログラミングやタイピングも自分のペースで学べます。

・桃太郎電鉄教育版で、地理や経営等の学習を楽しみながらゲーム感覚で学べます。

・相談員(心理士)の先生と、アバターを通して面談ができます。(予約制)

**開設日** 平日の月曜日・火曜日  
**開設時間** 午後1時～午後3時

### 【利用上のルール】

1. 「バーチャルスペースこだいら」への入室は、上記の時間のみとする。開設時間内なら好きな時に体験ができます。1度に50人まで入室できます。(※51人目の場合は入室できません。ご了承ください。)
2. 自分のアカウントやID、パスワード等は人に教えない。
3. 自分が特定される個人情報(写真、名前、住所、電話番号、SNSのユーザー名ID)、学校名等は、教えない。
4. バーチャル空間内のチャット等では、自分自身や他の人が不快な思いをしないように注意する。(安全管理上チャット内容は記録されます。)
5. 「バーチャルスペースこだいら」での様子を、録画、録音しない。また、SNS等にアップロードしない。

児童・生徒、保護者の皆様

小平市教育委員会

# 「バーチャルスペースこだいら」

## 新たな居場所

学び

ふれあい

仮想空間

小平市教育委員会は、

「外にあまり出られないけれど、バーチャルなら参加してみたい。」

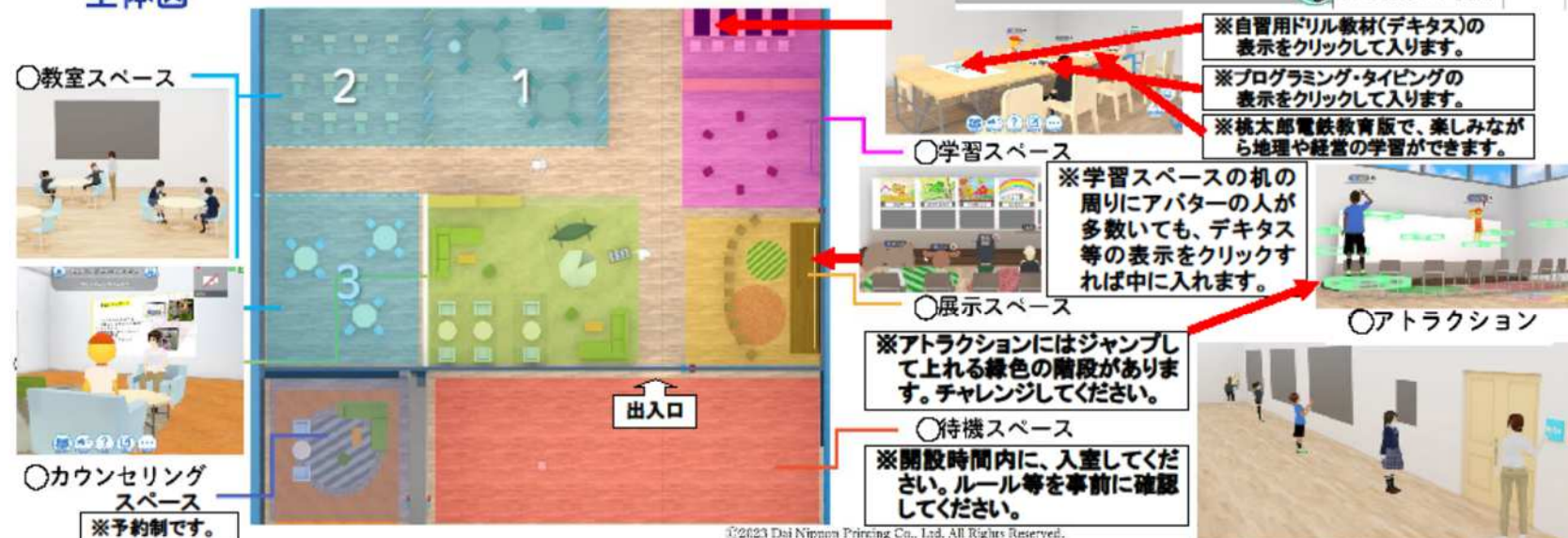
「安全な仮想空間で、学習したり、コミュニケーションをとったりしてみたい。」

という思いをもつ市立小・中学生を対象に、バーチャル・ラーニング・プラットフォーム(VLP)事業「バーチャルスペースこだいら」を始めます。

小平市教育委員会指導課  
教育支援担当  
TEL 042-343-9271



全体図



〇原則学校から貸し出された学習用端末で入室してください。  
〇「バーチャルスペースこだいら」には、支援員が開設時間帯に常駐していますので、分からないことがあったらチャット等で質問をすることができます。ぜひ活用してください。

◎「バーチャルスペースこだいら」に入室をしてみたい方は、学校から利用申請書をもらい、必要事項を記入して、学校へ提出してください。後日、学校を通して、アカウント等を配付します。

©2023 Dai Nippon Printing Co., Ltd. All Rights Reserved.